

『つなぐデザイン』

ー地域と社会と企業をつなぐデザインの意味と事例性ー

武蔵野美術大学造形構想学部 若杉 浩一氏

近年、公共建築物等木材利用法を契機として、安全かつデザイン性に優れた大規模木造建築物の建設が進んでいます。また、店舗やオフィス環境の内装木質化も着実に進んでおり、都市部においても街中で木材を目にすることが多くなってきました。一方、山村部では伐期に達したスギ等人工林の伐採、再造林は進んでおらず、木材利用の機運が林業の現場を潤すまでには至っていません。地域における木材生産を活性化するためには、都市と地域、地域と企業との乖離をなくし、相互のつながりを深めることが必要です。



令和3年3月の月例研究会では、武蔵野美術大学造形構想学部教授の若杉浩一氏をお迎えします。この講演は新型コロナウイルス感染拡大の影響でやむを得ず延期いたしました。皆様からのご要望に応えオンラインにて開催いたします。若杉氏は、(株)内田洋行およびパワープレイス(株)において、プロダクトデザイナーとしてオフィス家具の計画、デザイン、システム設計を行う一方で、平成14年に日本全国スギダラケ倶楽部を立ち上げ、スギ材の利用を通じて地域と企業をつなぐネットワークづくりに取り組んでこられました。また、平成31年4月には武蔵野美術大学に新設されたクリエイティブイノベーション学科の教授として着任され、デザインの「新しい価値づくり」に精力的に取り組まれておられます。講演では、これまで若杉氏が取り組んできたさまざまな事例をご紹介いただくとともに、これらの経験を元に、デザインが人、地域、経済に対して持つ意味についてお話しいたします。ご参加のみなさまとともに、「つなぐデザイン」をキーワードとして、地域と企業をつなぎ社会に活力を与える木材利用のあり方についてディスカッションさせて頂きたいと考えております。

～ 記 ～

- 日 時： 令和3年3月25日（木） 17時30分～（配信開始17時00分～）
- 会 場： ZOOM オンライン上にて開催
※当日のログイン情報については、お申込み頂いた後にお知らせいたします。
- 主 催： 木材利用システム研究会
- 参加費： 本会会員および共催団体会員は無料、非会員は3,000円
- 申込期限： 令和3年3月18日（木）
- 申込方法： ホームページ（<https://www.woodforum.jp>）からお申し込みください。
- その他： ZOOM の操作方法マニュアルを別途送付いたしますので参考にしてください。
事務局スタッフは在宅勤務を継続中です。お問い合わせはメールでお願いします。

木材利用システム研究会事務局：
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7号館B棟438室
東京大学環境材料設計学研究室内
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
Mail：info@woodforum.jp